

ドイツ語（初級 B） 第 25 回 関係代名詞

範囲：教科書第 15 課（S. 60-61）

《今回の基本例文》

83. Wie gefällt dir der VW, der dort an der Ecke steht? (CD76-2)

あそこの角に停まっているフォルクスヴァーゲンをどう思う？

〔定関係代名詞 1 格〕

84. Kennen Sie die Leute, deren Koffer hier stehen? (CD76-4)

ここにトランクを置いている、あの人たちをご存じですか？

〔定関係代名詞 2 格〕

85. Der Polizist sucht den Fahrer, dem das Auto hier gehört. (CD76-6)

警察官は、ここにある自動車の持ち主であるドライバーを探している。

〔定関係代名詞 3 格〕

86. Der Film, den ich gestern Abend im Fernsehen gesehen habe, war sehr interessant. (CD76-7)

私が昨晚テレビで見た映画は、非常におもしろかった。

〔定関係代名詞 4 格、（現在完了）、（過去形）〕

87. Das Zimmer, in dem wir übernachten haben, war ungeheizt. (CD76-10)

私たちが泊まった部屋は、暖房が入っていなかった。

〔前置詞＋定関係代名詞、（現在完了）、（過去形）〕

88. Wer viel raucht, schadet seiner Gesundheit. (CD77-1)

煙草をたくさん吸う者は、健康を害する。

〔不定関係代名詞 wer〕

89. Was man heute tun kann, darf man nicht auf morgen verschieben. (CD77-3)

今日できることは明日に延ばしてはいけない。

〔不定関係代名詞 was、不定関係代名詞節の主文中の役割を示す指示代名詞 das〕

I 定関係代名詞

■ ドイツ語の関係代名詞の総論

先行詞 → 性と数を決定

関係文中の役割 → 格を決定

関係文 = 定動詞後置（副文なので）

主文と関係文のあいだに必ずコンマ

◇ ある名詞を修飾するために後置される副文を導く接続詞を、**関係代名詞**という（英語と同じ）。

He is a student who learns German.

（先行詞） （関係文）

先行詞、**関係代名詞**、**関係文**などの用語や概念についても、英語と同じ。

1 定関係代名詞 der （S. 60）

◇ **定関係代名詞**（先行詞を含まない関係代名詞）は **der** で、指示代名詞の **der**（⇒教科書 S. 51）とまったく同じ性数格変化をする。強く発音するのも同じ。

	男性	女性	中性	複数
1 格	der	die	das	die
2 格	dessen	deren	dessen	deren
3 格	dem	der	dem	denen
4 格	den	die	das	die

* 指示代名詞 **der** 同様、定冠詞とほぼ同じ変化形で、2 格の **dessen** および **deren**、複数 3 格の **denen** にだけ気をつけよう。

** 定関係代名詞にはほかに **welcher** がある（変化形は疑問代名詞と同様、**dieser** 型）が、今日ではあまり使われない。

◇ 英語の *which* や *who* にあたるが（*that* は省略）、先行詞が物か人間かによる区別はない。

	物	人間
主格	<i>which</i>	<i>who</i>
所有格	<i>of which</i> / (<i>whose</i>)	<i>whose</i>
目的格	<i>which</i>	<i>whom</i> / (<i>who</i>)

これに対して、ドイツ語では目的格が 3 格と 4 格に分かれ、物／人間の代わりに性数の区別がある。

◇ 関係代名詞に導かれる関係文は副文の一種なので、必ず**定動詞後置**になる。（⇒教科書 S. 34-35）

◇ 基本的に、

- ・ 関係文の**主語** → **1 格**
- ・ 関係文の**3 格目的語** → **3 格**
- ・ 関係文の**4 格目的語** → **4 格**

の関係代名詞を用いる、と考えればよい（以下、教科書の例文を個別に見ていく。わかりやすくするため、先行詞に囲い、関係代名詞に網掛、関係文に下線をつける）。

(1 格) Der Mann, der dort steht, ist unser Lehrer.

あそこに立っている男性は、私たちの先生である。

* **der Mann** が先行詞（男性）。

** **der** が関係代名詞（男性 1 格） → 関係文の主語 = 1 格。

*** 「あそこに立っている（**der dort steht**）」「男性は（**der Mann**）」「私たちの先生です（**ist unser Lehrer**）」の順番（関係文 → 先行詞 → 主文）で訳するのが基本だが、慣れたら左から右に読んでいってもよい。以下同様。

(3 格) Der Mann, dem ich geholfen habe, hat mir nicht einmal gedankt.

私が手助けしてやったその男性は、私にお礼さえ言わなかった。

* **der Mann** が先行詞（男性）。

** **dem** が関係代名詞（男性 3 格） → 関係文の（**helfen** の）3 格目的語。

*** 「私が助けてあげた（**dem ich geholfen habe**）」「男性は（**der Mann**）」「私に感謝さえしなかった（**hat mir nicht einmal gedankt**）」。

**** **nicht einmal** は熟語（副詞句）で「～さえしない」の意味（英語の *not even*）。**danken** は自動詞「〈3 格〉に感謝する」で、ここでは **mir** が 3 格にあたる。むろん挨拶文の **Danke!** はここから来ている（**Ich danke** の略）。

（4格）Der Mann, den ich heute besuchen möchte, ist mein Freund.

私が今日訪問しようと思っているその男性は、私の友人である。

* der Mann が先行詞（男性）。

** den が関係代名詞（男性4格）→ 関係文の（besuchen の）4格目的語。

*** 「私が今日訪問しようと思っている（den ich heute besuchen möchte）」「男性は（der Mann）」「私の友人です（ist mein Freund）」。

◇ **2格**の関係代名詞は、すぐ次の名詞を「先行詞の○○」というかたちで**修飾**する。一方、**2格**の関係代名詞＋名詞の結合は、関係文中で主語にも**3格**目的語にも**4格**目的語にもなりうるので、その都度あらためて判断しなければならない。

（2格）Der Mann, dessen Bild ich Ihnen gezeigt habe, heißt Herr Müller.

私が見せた写真の男性は、ミュラー氏という。

* der Mann が先行詞（男性）。

** dessen が関係代名詞（男性2格）→ dessen Bild でひとかたまり。

*** dessen Bild の関係文中での役割は、関係文を詳しく読まないといけない。この場合は dessen Bild が zeigen の4格目的語になっている。

**** 「その写真を私があなたに見せた（dessen Bild ich Ihnen gezeigt habe）」「男性は（der Mann）」「ミュラー氏という名前です。（heißt Herr Müller）」。

◇ 英語（*in which, with whom* など）と同じく、前置詞が関係代名詞の前に置かれることもある（**前置詞＋関係代名詞**）。その場合、関係代名詞の格は前置詞の**格支配**によって決定される。

（前置詞＋関係代名詞）Gehen wir in ein Café, in dem es nicht so laut ist.

あまりうるさくない喫茶店に行きましょう。

* ein Café が先行詞。Café は中性で、また in＋4格と考えられるので、中性4格。

** in dem が前置詞 in＋関係代名詞（中性3格）→ 関係文の副詞句（in＋3格）。英語の *in which* と同じ。

*** in は3・4格支配だが、この場合は in dem ...と3格を用いている。つまり、Café は移動の目的地ではなく位置を示す。

**** 「そのなかはさほどうるさくない（in dem es nicht so laut ist）」「喫茶店（ein Café）」「に行きましょう（Gehen wir in...）」。

◇ なお、以上はいずれも**制限用法**である。ドイツ語の関係代名詞にも制限用法と**非制限用法**の区別があるが、必ず関係代名詞の前にコンマが入るので（つまり英語のようにコンマの有無によっては制限用法／非制限用法の区別が示されない）ので、文脈からいずれかを考えねばならない。

■ 練習問題の補足

Übung 1

2. VW は Volkswagen の略。

3～4. 前述のように、2格の関係代名詞＋名詞の結合は、関係文中で主語にも3格目的語にも4格目的語にもなりうる。3の dessen Geburtstag は関係文の4格目的語、4の deren Koffer は関係文の主語。

8. empfehlen は3格目的語と4格目的語をとり、「〈3格〉に〈4格〉を勧める」の意味。

II その他の関係文：関係副詞、不定関係代名詞

2 関係副詞 wo (S. 61)

◇ 先行詞が場所や時刻を表す語句の場合、**関係副詞 wo** を用いる。先行詞は名詞か副詞。

* 英語のように *where* と *when* の区別はなく、先行詞が場所でも時間でも一様に **wo**。 **wenn** は関係副詞にはならないので注意。

Die Stadt, wo (= in der) ich geboren bin, liegt an der Nordsee.

私の生まれた町は北海のほとりにある。

* 先行詞が場所を表す名詞である事例。関係副詞 **wo** は、先行詞が名詞の場合、前置詞＋関係代名詞に置き換え可能。

** geboren は gebären (vt. 〈4 格〉を産む) の過去分詞。存命人物について「(～年に) 生まれた」と述べる場合は、状態受動の現在形 (sein＋過去分詞) を用いることになっている。 (⇒教科書 S. 57)

Jetzt, wo der Chef fort ist, gehen wir auch alle nach Haus.

上司が去ったいま、私たちもみな家に帰る。

* 先行詞が時間を表す副詞である事例。

Wo früher Wiesen waren, stehen jetzt Häuser.

むかしは草原だったところに、いまは家が立ち並んでいる。

* 一方、このように先行詞がない事例もある。こうした場合、従属の接続詞による副文と見かけ上はまったく変わらない。

3 不定関係代名詞 wer と was

wer + 関係文：「～する人」

was + 関係文：「～するもの、～すること」

◇ **不定関係代名詞**（先行詞を含む関係代名詞）は **wer** あるいは **was** で、やはり関係文中の役割に応じて格変化する。格変化は、疑問詞の **wer** や **was** とまったく同じである。 (⇒教科書 S. 13)

* 英語の *what, whatever, whoever* などにあたる。

	wer	was
1 格	wer	was
2 格	(wessen)	(wessen)
3 格	wem	-
4 格	wen	was

これらの**不定関係代名詞**に導かれる節「～する人」、「～するもの／こと」は名詞節の扱いになる。

◇ 不定関係代名詞 **wer** や **was** に導かれる関係文はほぼ主文に先行するので、主文中の役割を明示するため、主文の頭に指示代名詞 **der** の格変化形（単数）を置くことが多い（置かなくともよい）。その場合、**wer** 節（人）に対しては男性形の **der**、**was** 節（物）に対しては中性形の **das** を用いる。

	男性	女性	中性	複数
1 格	der	die	das	die
2 格	dessen	deren	dessen	deren
3 格	dem	der	dem	denen
4 格	den	die	das	die

◇ 以下、教科書の例文。関係代名詞に網掛、指示代名詞 der に波線、関係文に下線をつける。

(人の 1 格) Wer jetzt kauft, [der] kauft 20% billiger.

いま買う人は、20%安く買えます。

* 関係文は wer jetzt kauft. wer なので人間を示し、関係文の主語＝1 格。「いま買う人」。

** wer jetzt kauft 全体が主文の主語 → 指示代名詞男性 1 格の der を添えても可。

*** 「いま買う人」「は、20%安く買えます ([der] kauft 20% billiger)」。%は Prozent と読む。billiger は billig (adj. 安い) の比較級であり、実はまだ扱っていない。 (⇒教科書 S. 62)

(人の 3 格) Wem das nicht passt, der kann ja gehen.

これが気に入らない人は、帰っていいですよ。

* 関係文は wem das nicht passt. wem なので人間を示し、関係文の 3 格目的語。「これが気に入らない人」。passen は「(3 格)の気に入る」の意味。

** wem das nicht passt 全体が主文の主語 → 指示代名詞男性 1 格の der を添えても可。

*** 「これが気に入らない人」「は、行ってしまってよい (der kann ja gehen)」。

(人の 4 格) Wen wir lieben, [den] möchten wir nicht verlieren.

私たちは愛する人を失いたくない。

* 関係文は wen wir lieben. wen なので人間を示し、関係文の (lieben の) 4 格目的語。「私たちが愛する人」

** wen wir lieben 全体が主文の 4 格目的語 → 指示代名詞男性 4 格の den を添えても可。

*** 「私たちが愛する人」「を、私たちは失いたくない ([den] möchten wir nicht verlieren)」。

(物の 4 格) Was Sie gesagt haben, [das] ist vollkommen richtig.

あなたが言ったことはまったく正しい。

* 関係文は was Sie gesagt haben. was なので物を示し、関係文の (sagen の) 4 格目的語。「君が言ったこと」。

** was Sie gesagt haben 全体が主文の主語 → 指示代名詞中性 1 格の das を添えても可。

*** 「君が言ったこと」「は、完全に正しい ([das] ist vollkommen richtig)」。

(物の 4 格) Du kannst machen, was du willst.

君はやりたいことをやってよい。

* 関係文は was du willst. この wollen は話法の助動詞ではなく本動詞 (4 格) を望む。was なので物を示し、関係文の (wollen の) 4 格目的語。「君が望むこと」。

** was du willst 全体が主文の目的語。なお、教科書第 7 課で学習した話法の助動詞の規則をそのまま適用すると、Du kannst, was du willst, machen. となり、こちらも正しいが、こうした場合は副文を kannst ... machen の枠 (=話法の助動詞...不定詞の枠) の外に出すことが許されるため、上記のような語順が成立する。

*** 「君が望むこと」「を、君はしてよい (du kannst machen...)」。

◇ 一方、不定関係代名詞でも先行詞をとる場合がある。具体的には、

・先行詞が中性の代名詞であるとき : alles (すべて) , etwas (なにか) , nichts (いかなる～もない) , vieles (多く) , das (それ)

* alles, etwas, nichts, vieles は不定代名詞、das は指示代名詞。 (⇒教科書 S. 51)

・先行詞が形容詞の最上級の名詞化であるとき

これらについては、etwas, was や alles, was などのペアで覚えておくとよい。

◇ 以下、教科書の例文。やはり先行詞に囲い、関係代名詞に網掛、関係文に下線をつける。

Wir haben alles, was wir brauchen.

私たちは私たちが必要とするものをすべて持っている。

* 先行詞が中性の不定代名詞 alles である場合。

** 「我々が必要とする（was wir brauchen）」「すべて（alles）」「を、私たちは持っている（wir haben ...）」。

Das ist das Schönste, was ich je gesehen habe.

それは、私が今までに見た、一番すばらしいものである。

* 先行詞が最上級の形容詞名詞化である場合。

** 「これは（das ist ...）」「私がこれまでに見た（was ich je gesehen habe）」「最も美しいもの（das Schönste）である」。

*** 形容詞の最上級はまだ登場していないため、詳しくはのちほどあらためて扱う。（⇒教科書 S. 62-64）

◇ 不定関係代名詞でも先行詞をとる場合は中級者向け事項なので、いまは先行詞を含む wer と was の使い方を押さえておいてもらいたい。

■ 練習問題の補足

Übung 2

1. schaden は3格目的語をとる自動詞で、「〈3格〉を害する、損なう」。
2. *et⁴*. auf *et⁴*. verschieben で「〈4格〉を〈4格〉にずらす、位置を変える」。なお、ドイツ語では、auf morgen のような前置詞＋副詞のかたちも許される。

練習

（）内に適当な関係代名詞を入れ、日本語に訳せ。

1. Ich kenne einen deutschen Professor, () oft nach Japan kommt.
2. Aus Franken kommt der Wein, () Flasche eine besondere Form hat.
3. In Wien haben wir die Touristen gesehen, () wir schon in München begegnet sind.
* ドイツ語では英語と異なり、先行詞（この場合は Touristen）と関係代名詞（ここでは空欄）がやや離れることがある。
4. Das Bier, () ich in München bestellt habe, hat sehr gut geschmeckt.
5. Sie sucht einen Partner, mit () sie Musik machen kann.
6. Wie heißt die Frau, auf () er lange gewartet hat?
7. Es gibt auf der Welt Dinge, für () es keine Erklärung gibt.
8. Hier ist etwas, () ich für wichtig halte.
9. () einmal gelogen hat, den glaubt man nicht mehr.
* lügen (*vi.* 嘘をつく) - log - gelogen.
10. () wir damals erlebt haben, können wir nie vergessen.

連絡先など

教員のメールアドレス：tokan@nifty.com 授業のウェブサイト（進捗表示、配付資料あり）：<https://hhasegawa.la.coocan.jp/lecture/>